



千葉動力車労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.8.13 No. 3268

今秋季反天皇 政治闘争の胎動はもたら

無実の部落青年石川一雄氏が、デッチ上げ逮捕され二七年、最高裁による上告棄却から十三年目をむかえる。石川氏は今、千葉刑務所の獄壁の中にあって、日々、無実を訴えつづけている。こうした石川氏に連帯すべく、長野県・豊野において、「八・五狭山関東ブロック集会」が開催され地元長野県下を中心に、関東各都県連の解放同盟員、支持者ら二〇〇名をこえる人が参加した。

集会では、三里塚反対同盟、動力千葉、都政を革新する会(代表・長谷川英憲都議)らが連帯のあいさつをおこない、石川氏からの獄中メッセージをうけて、各都県連からの報告をうけ、特に長野「入学式において日の丸をひきずりおろした」、群馬「反天皇『まつり』を地域ぐるみでかちとる」、茨城「皇族の結婚式に抗議して、ハンストを貫徹」と、生き生きと語った。

85 関東ブロック集会
長野
激烈な決意に込めよう

また、「天皇制があるかぎり部落差別はなくならない」「部落差別の元凶は天皇」として、「十一月大じよう祭に対しては、『皇居に突入して儀式を粉砕する』」という発言があいつぎ、部落民の天皇に対する積年のうらみを訴えていた。

集会は、最後に、団結ガンバローで終了し、各地域へ帰っていった。

会計監査実施

1990年7月30日

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 中野 洋 殿

国鉄千葉動力車労働組合

会計監査員 関 弘 明

会計監査員 小 沢 勇

会計監査員 寺 本 明 生

会 計 監 査 報 告 書

1989年度第4-四半期会計監査は、規約第47条の定めるところにより会計監査を実施した結果、金銭、帳簿に誤りのないことを確認し、下記のとおり報告します。

記

1. 監査期日 1990年7月30日
2. 監査場所 国鉄千葉動力車労働組合本部事務所
3. 監査項目
 - (1) 予算執行の適否
 - (2) 経費、支出内容の適否
 - (3) 物品購入価格および方法の適否
 - (4) 消耗品使用の適否
 - (5) 財産および備品管理の適否
 - (6) 現金および預金の確認
 - (7) その他必要と認める事項

4. 確認事項 1990年7月30日現在の預金、現金、証券類の確認

総括意見

1989年度第4-四半期会計監査は、規約第47条の定めるところにより会計監査を実施した結果不正にもとづく事実のなかったことを証明します。清算事業団闘争をはじめとした諸闘争を一糸乱れぬ団結をもって闘いぬくが故に強制配転、ボーナス・昇給カット等の「処分のための処分」の乱発など動力千葉絶滅攻撃が激化しています。これらの攻撃に立ち向かいあくまでも原則的闘い抜くための財政基盤の確立にむけて一層の努力を要請します。

以上

天皇制強化と
差別の激化は一体!

8.8

狭山

千葉県集会

無実でありながら、部落差別ゆえに、二七年間も獄中に閉じこめられていた石川さんの怒りと悔しさは、どれほど深く激しいものがあるのか。

われわれは、あの十三年前の寺尾無期差別判決を確定した最高裁上告棄却の悔しさを、決して忘れることはできません。そして、今また、東京高裁は、十一月、天皇即位

儀式にあわせて、第二次再審を棄却しようとしています。決戦のときをむかえ、全力で石川氏奪還へ総決起しなければなりません。

青年部は、部落解放同盟千葉県連の要請にもとづき、八月八日、石川さん激励、千葉刑闘争に参加しました。解放同盟の仲間からは、とくに十一月「即位の礼・大じよう祭」に対して、「天皇制

が強化されるとき差別は激化する、天皇制を認めて部落解放はありえない」と決意が出され、われわれも天皇制強化による政治反動との対決、部落解放運動との連帯・共闘を労働運動の重要課題として闘っていかねければなりません。あついなか、集会・デモを貫徹し、これからも団結力で頑張っていくことを参加者全員で確認しました。